

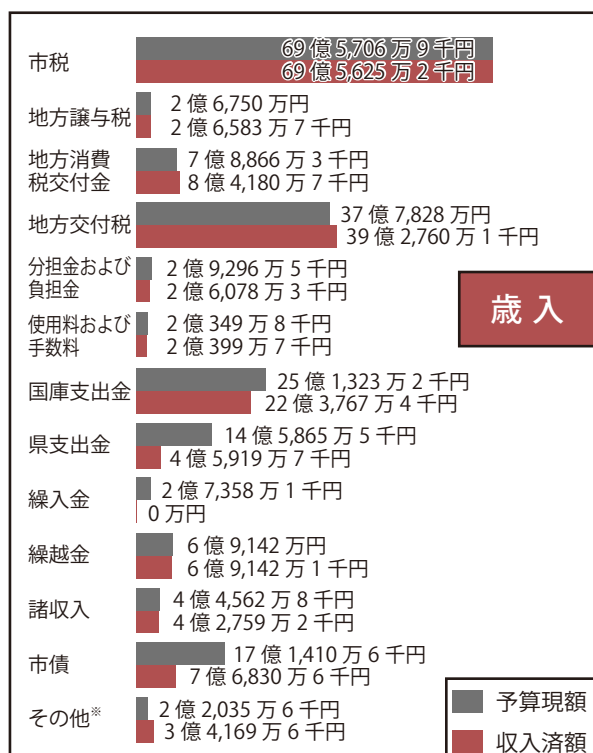
平成29年度下半期 那珂市の財政事情

問い合わせ

財政課財政グループ

☎ 298-1111

(内線 522・523)

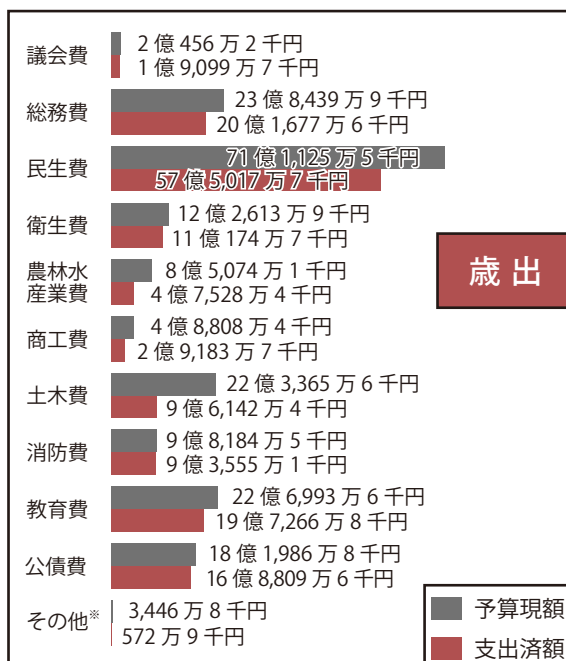


歳入

※その他…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、ゴルフ場利用税交付金、財産収入、交通安全対策特別交付金、寄付金

◆特別会計
特別会計は、特定の事業について、特定の歳入歳出により収支経理を行うため、一般会計とは別に設けている会計です。
歳入では、下水道事業などでの市債の借り入れや一般会計からの繰り入れ、国庫支出金の交付が、歳出では、公園墓地事業での一般会計への繰り出しが、それぞれ事務手続きの都合で4月以降になることから、収入・支出割合が低くなっています。

◆一般会計
一般会計は、福祉や教育、土木などに係る市の基本的な経費を計上しています。
歳入では、県支出金の交付や市債の借入れが事務手続きの都合で4月以降になるため、収入割合が低くなっています。歳出では、出納整理期間※に支払われる予定のほか、翌年度に繰り越して行う事業があるため、支出割合が低くなっています。
※出納整理期間とは、会計年度末(3月31日)までに確定した債権・債務を完了させ、現金の未収・未払いを処理するために設けられており、翌年度の4月1日～5月31日の期間をいいます



歳出

※その他…災害復旧費、諸支出金、予備費

市では、市民の皆さんに市政運営の状況をご理解いただくため、毎年2回(9月末と3月末)、財政事情を公表しています。地方自治体では、最終的な決算額は5月末日に確定するため、今月号では3月末現在での予算の執行状況や市有財産の現在高などについてお知らせします。

会計名	予算現額 A	収入済額 B	支出済額 C	収入割合 B ÷ A	支出割合 C ÷ A
一般会計	196億 495万3千円	173億8,216万3千円	153億9,028万6千円	88.7%	78.5%
特別会計	153億2,876万1千円	116億 195万8千円	132億3,804万1千円	75.7%	86.4%
国民健康保険(事業勘定)	66億8,491万7千円	59億1,558万5千円	59億9,967万2千円	88.5%	89.7%
下水道事業	19億9,916万3千円	7億3,761万1千円	14億6,151万2千円	36.9%	73.1%
公園墓地事業	1,200万 円	1,172万3千円	275万4千円	97.7%	23.0%
農業集落排水整備事業	12億8,631万7千円	4億5,626万6千円	10億7,972万3千円	35.5%	83.9%
介護保険(保険事業勘定)	46億1,270万3千円	38億8,678万2千円	39億9,337万 円	84.3%	86.6%
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	1億3,727万2千円	1,228万 円	1億3,520万6千円	8.9%	98.5%
後期高齢者医療	5億9,638万9千円	5億8,171万1千円	5億6,580万4千円	97.5%	94.9%
合計	349億3,371万4千円	289億8,412万1千円	286億2,832万7千円	83.0%	82.0%

◆歳入歳出予算執行状況



税目	収入済額	1世帯当たりの負担額	1人当たりの負担額
市民税	29億5,098万8千円	13万789円	5万3,527円
固定資産税	30億8,420万9千円	13万6,693円	5万5,943円
軽自動車税	1億6,068万1千円	7,121円	2,915円
市たばこ税	3億6,094万4千円	1万5,997円	6,547円
都市計画税	3億1,598万4千円	1万4,005円	5,732円
合計	68億7,280万6千円	30万4,605円	12万4,664円

※世帯数 22,563 世帯、人口 55,131 人 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担により賄われています。なかでも、市税は、財政運営上極めて重要な歳入であり、常に適正かつ公平な賦課徴収に努めています。

◆市税負担の状況

区分	平成29年9月30日現在	平成30年3月31日現在	増減
総務債	5,220万 円	4,922万 円	△298万 円
民生債	1,598万9千円	1,570万5千円	△28万4千円
衛生債	2億5,862万9千円	2億3,592万8千円	△2,270万1千円
農林水産業債	9,552万 円	8,228万7千円	△1,323万3千円
土木債	7億2,466万8千円	6億7,459万9千円	△5,006万9千円
河川債	7億8,814万8千円	7億6,666万1千円	△2,148万7千円
都市計画債	20億7,448万1千円	19億1,868万3千円	△1億5,579万8千円
公営住宅債	1億2,258万1千円	8,676万6千円	△3,581万5千円
消防債	3億1,256万5千円	3億 94万8千円	△1,161万7千円
教育債	18億4,593万9千円	16億8,091万3千円	△1億6,502万6千円
災害復旧債	126万 円	112万 円	△14万 円
減税補てん債	2億5,057万4千円	2億1,885万3千円	△3,172万1千円
臨時税収補てん債	832万 円	0円	△832万 円
臨時財政対策債	96億5,787万5千円	101億1,732万5千円	4億5,945万 円
小計	162億 874万9千円	161億4,900万8千円	△5,974万1千円
下水道事業債	101億9,996万 円	97億9,630万1千円	△4億 365万9千円
農業集落排水整備事業債	42億7,396万8千円	41億7,619万1千円	△9,777万7千円
土地区画整理事業債	5億 37万8千円	4億5,463万8千円	△4,574万 円
水道事業債	8億7,271万 円	12億8,989万 円	4億1,718万 円
合計	320億5,576万5千円	318億6,602万8千円	△1億8,973万7千円

市債は、大規模な事業を実施した際に、国や民間の金融機関などから借り入れた資金であり、公債費として支出し返済しています。

◆市債現在高

区分	平成 29 年 9 月 30 日現在	平成 30 年 3 月 31 日現在	増減
土地	1,782,416㎡	1,797,599㎡	15,183㎡
建物	166,203㎡	166,242㎡	39㎡
有価証券	1,339万6千円	1,339万6千円	0円
出資による権利	7,691万9千円	7,691万9千円	0円
債権	2,741万4千円	1,656万1千円	△1,085万3千円
基金	81億3,908万3千円	80億7,980万 円	△5,928万3千円

※水道事業会計分は含まない

◆市有財産現在高

一時借入金とは、会計年度中に収支の不均衡を生じ歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うために一時的に借り入れるもので、当該年度の歳入で返済します。
平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の期間においては、一時借り入れは行いませんでした。

◆一時借入金

区分		予算現額 A	収入・支出済額 B	執行率 B÷A
収益的 収支	収入	12億 475万9千円	12億5,163万9千円	103.9%
	支出	11億9,207万 円	13億 690万5千円	109.6%
資本的 収支	収入	5億6,802万6千円	5億3,200万7千円	93.7%
	支出	10億 480万8千円	9億2,585万6千円	88.3%

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。収益的収支は、経常的な業務の収支を示すもので、主な収入は水道料金収入、支出は給水のための経費や人件費、減価償却費などです。また、資本的収支は、水道管の布設など建設改良費の収支を示すものです。収支状況は、赤字となっていますが、この不足分については、内部留保資金などで補うことになります。

◆水道事業会計